

社会貢献活動の一環として、 新入社員による小学生への交通安全啓発活動を実施しました

トヨタテクニカルディベロップメント株式会社（本社:愛知県豊田市、代表取締役社長:辻 直樹／以下、当社）は、社会貢献活動の一環として、新入社員による地域小学生への“交通安全啓発活動”を実施いたしましたので、お知らせいたします。

本年4月に当社の一員となった新入社員が豊田市立青木小学校を訪問し、交通安全啓発活動を実施いたしました。本活動は、「地域の小学生の交通安全意識の向上」と「新入社員の社会人としての自覚」を目的として一昨年からはじめ、今回で3回目の活動となります。本年も、青木小学校ならびに愛知県豊田警察署のご協力のもと、活動を実施いたしました。

まず事前に、豊田警察署の方から小学生の交通事故事例や交通安全活動のアドバイスについてご講演いただきました。講演内容をもとに、小学生への交通安全の呼びかけを新入社員自身が考え、それぞれ担当の学年にあった伝え方を仲間と相談しながら、準備を進め、“呼びかけたことをいつでも思い出してほしい”という思いから、交通安全ポスターを新入社員一人ひとりが作成しました。

当日は、新入社員が「こんなとき、みんなはどうする？」などと問いかけながら、気をつけてほしいことを自分たちの言葉で伝え、作成したポスターを各クラスにお渡ししました。また、日常生活の中で道路標識を覚えられるよう、道路標識が記載されたクリアファイルを配付しました。そして活動の最後は、児童のみなさんが安全に下校できるよう、横断歩道では手を挙げるなどの呼びかけをしながら、下校を見届けました。

この活動は、新入社員が自らの行動を省みる貴重な機会ともなり、「クルマに携わる会社の一員」としての責任の重さや「安全な地域社会づくりに貢献すべき社会の一員」であることの自覚を強く持つことができました。

当社は、こうした取り組みを通じて、これからも地域社会との交流を深めるとともに、安心できる地域社会づくりに貢献してまいります。

以上



<交通安全を呼びかける新入社員>



<安全に下校する様子を見届けました>